# 新しい価値の創造によってうまれた グリーン・クリーン・ファイン製品で、社会に貢献しています

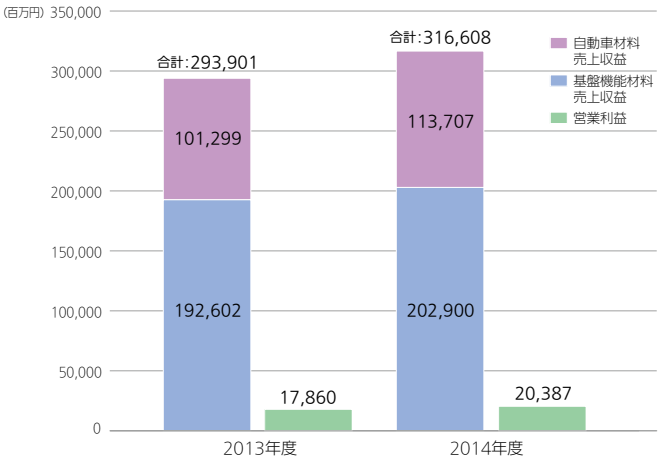
## インダストリアルテープ（基盤機能材料）

自動車業界向けは、グローバルな三新活動の成果により生産台数の増加を上回る成長を継続しました。中国向け自動車ランプの内圧調整部材、欧州向け塗膜保護フィルムなどが貢献しました。また、Nitto豊橋事業所内のATC（Automotive Technical Center）をリニューアルし、材料と評価技術の融合により自動車の軽量化やエレクトロニクス化に対応する総合的な提案力の強化を図りました。

エレクトロニクス業界向けは、スマートフォンのパネルモジュール用両面粘着テープや防水・通音機能材料などが好調に推移しました。工業用途全般に使用される汎用性の高い両面粘着テープは、欧州の市況悪化があったものの、東アジアからの受注で補いました。エレクトロニクス業界向けのプロセス材料、耐熱フッ素樹脂製品などは堅調に推移しました。

| | | 2013年度 | 2014年度 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上収益 | 基盤機能材料 | 192,602 | 202,900 | 105.3% |
| | 自動車材料 | 101,299 | 113,707 | 112.2% |
| | 計 | 293,901 | 316,608 | 107.7% |
| 営業利益 | 計 | 17,860 | 20,387 | 114.1% |

単位：百万円




## オプトロニクス

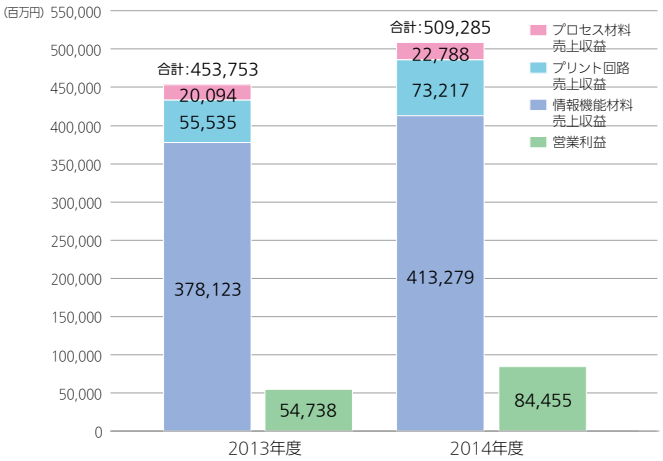
情報機能材料では、スマートフォンやタブレット型PCの新製品投入や、新製品でのパネルサイズ大型化、さらに販売好調による増産効果も加わり、当該製品群向けの光学フィルムが好調に推移しました。テレビ用光学フィルムもサッカーワールドカップによるイベント効果と、4Kテレビ立ち上げに伴うパネルサイズ大型化により堅調に推移しました。一方、タッチパネル用透明導電性フィルムは、中国系顧客では堅調に推移しましたが、他大手顧客の生産が伸びず、全体では低調でした。

プリント回路は、年間を通じてスマートフォン用ディスプレイ向けに採用機種数などを拡大したことや、高容量HDDの市場拡大に伴う搭載個数の増加により好調に推移しました。

プロセス材料においてもスマートフォンの市場拡大により関連する半導体市場が活況を呈し、半導体製造の後工程で使用されるテープが好調に推移しました。

| | | 2013年度 | 2014年度 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上収益 | 情報機能材料 | 378,123 | 413,279 | 109.3% |
| | プリント回路 | 55,535 | 73,217 | 131.8% |
| | プロセス材料 | 20,094 | 22,788 | 113.4% |
| | 計 | 453,753 | 509,285 | 112.2% |
| 営業利益 | 計 | 54,738 | 84,455 | 154.3% |

単位：百万円



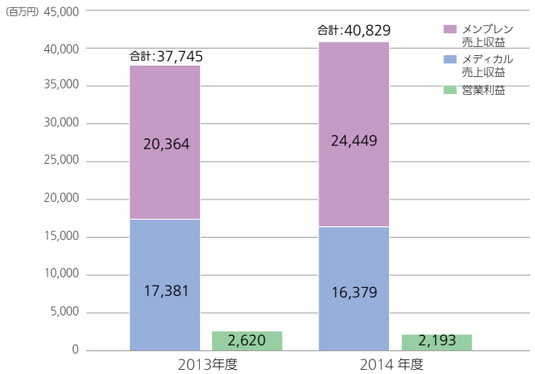
## メディカル&メンブレン

メディカル(医療関連材料)は、国内の経皮吸収型テープ製剤の薬価改定と後発医薬品の使用促進政策による収益力低下を補うため、米国の核酸医薬グループ会社での受注拡大により挽回を図りましたが、全体では低調な推移となりました。

メンブレン(高分子分離膜)は、中国や南アジアなどのボイラー用水や排水回収の交換案件を安定して受注したことに加え、半導体や液晶パネル用超純水プロジェクト案件において、付加価値の高い案件を受注したことで好調に推移しました。

| | | 2013年度 | 2014年度 | 前年同期比 |
|---|---|---|---|---|
| 売上収益 | メディカル | 17,381 | 16,379 | 94.2% |
| | メンブレン | 20,364 | 24,449 | 120.1% |
| | 計 | 37,745 | 40,829 | 108.2% |
| 営業利益 | 計 | 2,620 | 2,193 | 83.7% |

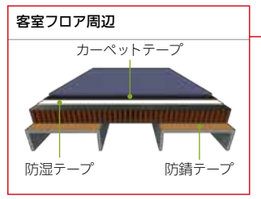
単位：百万円

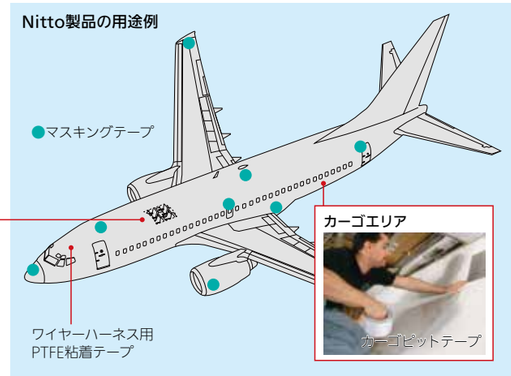



## 航空機関連製品の拡充

Nittoは、航空機用防錆・防湿材料(製品名：AEROSEAL®、モイスチャバリア)を開発し、供給を開始しました。当製品は、優れた防錆・防湿機能を発揮するとともに作業性にも優れ、お客様の作業負担を軽減します。このような特長が評価され、すでに大手エアラインでの採用も始まりました。

従来製品の航空機用マスキングフィルムや両面テープにこれらの新たなラインナップを加え、航空機業界におけるNittoのプレゼンス拡大を図るとともにさらなる関連製品の開発・供給を目指します。




## マレーシアに衛生材料製品の生産ラインを導入

2015年3月、マレーシア現地法人の日東電工マテリアルズマレーシアに衛生材料製品の生産ラインを導入しました。マレーシアは、今後オムツ製品の急速な拡大が見込まれるアジアにあり、中国や南アジアなど周辺国にはオムツメーカーの工場が多く立地しています。

オムツは、国により求められる機能が少しずつ異なります。マレーシアという地の利を活かし、消費者のニーズを満たす製品を開発・供給していきます。

## 最適な自動車関連材料を提案するためATCをリニューアル

Nittoグループは、製品を車に実装してその効果を評価・検証する試験施設、オートモーティブテクニカルセンター(Automotive Technical Center(ATC))を日本、アメリカ、ベルギー、中国、タイに備えています。

2014年7月、ATCを大幅にリニューアル。車両全体での測定評価が可能になり、実際に近い使用環境で当社製品の効果を実感していただけます。今後も自動車に求められる「安全」「快適」「効率化」のキーワードを見据え、車輌評価・部品設計技術・材料技術を融合し、お客様の新たな価値創造に努めます。

リニューアルされたATC

ATCグローバル体制

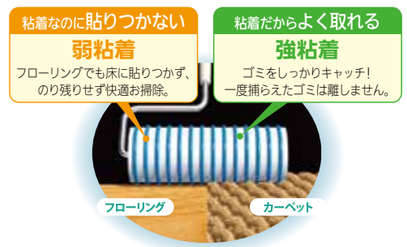
## 住宅関連事業を再編

2015年4月1日、Nittoグループ内の住宅関連事業をエル日昌に統合し、社名を日東エルマテリアルに改めました。同社はNittoグループの総合力を活かし、スマートシティやスマートハウス、HEMS※といった住宅エレクトロニクスなどもターゲットに、業界に最適な提案を致します。将来的にはグローバルに展開、住宅をはじめ建築・土木など社会インフラのソリューションプロバイダーとなることを目指します。

※HEMS：Home Energy Management Systemの略。
家庭で使うエネルギーを節約するための管理システム。

## どんな床でも掃除できる「コロコロ®フロアクリン」

フローリング、カーペット、畳、タイル床などどんな床でも使えるニトムズの「コロコロ®フロアクリン」。カーペットのゴミを取るための強い粘着剤と、フローリングの床に貼りつかない弱い粘着剤を併用し、「どちらにも使えるコロコロがほしい」というお客様の要望を実現した製品です。どんな床でも満足していただけるゴミ捕捉性能を備えています。



## 韓国の模範商工人表彰・大統領表彰を受賞

2015年3月18日、韓国ソウル市内で開催された「商工の日」記念式において、韓国日東オプティカルの副社長、岡貴弘が模範商工人表彰・大統領表彰を受賞しました。この表彰は、商工業振興を通じて同国の産業の発展に貢献した人に贈られるもので、大統領表彰の受賞者15人のうち、韓国人以外での受賞は岡だけでした。

イ・ワング
前国務大臣(左)と岡

## ニトリート「キネロジ®EX」を新発売

日東メディカルは、筋肉をサポートするニトリート「キネシオロジーテープ」シリーズの新製品として、「キネロジ®EX」を2014年4月1日に発売しました。

「剥がれにくいテープ」「かぶれにくく、剥がす時に痛くないテープ」という消費者ニーズにマッチし、動いても、また汗や水に濡れてもはがれにくい一方で、通気性にも優れた肌に優しいスポーツテープです。

## 核酸少量合成サービス（OliGrow® Japan）を日本でも開始

Nittoは、米国の日東電工アビシアに加えて東北事業所でも核酸医薬の少量合成サービス（OliGrow® Japan）を開始しました。研究開発から前臨床試験までをサポートする25mgから20gの少量合成サービスで、修飾や特殊アミダイトなど要望に沿ったDNA、RNA合成が可能です。

また、OliGrow® Japanは将来のスケールアップ、GMP※製造が可能で、日東電工アビシアでの臨床用、商業用の核酸製造へスムーズに移行できます。

核酸少量合成サービスの詳細はこちら
http://www.nitto.com/jp/ja/products/group/medical/007/
http://www.avecia.com/Avecia/nitto-avecia-oligrow.html（英語）

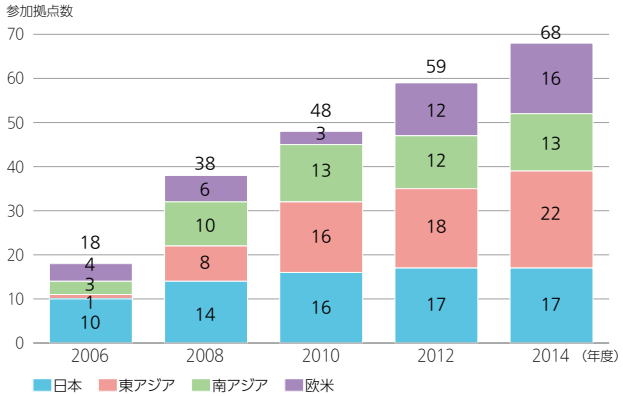
※GMP：Good Manufacturing Practice（医薬品等の製品管理及び品質管理に関する基準）の略。

# Group Activity Toward Excellence（GATE）

「GATE」とは、ものづくりに関わるテーマに全員参加で継続的に取り組む小集団活動で、「質の向上」を目的としています。

Nittoグループは、職場の身近な課題改善に取り組むことで従業員一人ひとりの意識向上と自立的な行動を促し、職場の活性化を図っています。これにより、現場力が強化され、「安全で働きやすい職場環境づくり」、「お客様に喜んでいただける品質の追求」に繋がると考えています。

■エリア別参加拠点数




活動を開始した2006年度の参加は18拠点でしたが、年々参加意欲が高まり、2014年度は68拠点まで拡大。ほとんどの製造・加工拠点が参加しました。今後は、営業や開発などものづくりに携わるすべての拠点へ展開するとともに、エリアでの活動をより一層盛り上げ、グループ全体への定着を目指します。

改善事例は、拠点とエリアでの選考会を経てグローバル大会で発表するなど共有を図っています。

2014年度グローバル大会（ポスターセッション会場）